

石部駅周辺整備事業
石部駅改良工事説明会 議事録

日時：令和3年（2021年）11月5日（金）
午後7時00分～午後8時30分
場所：石部まちづくりセンター
2F 中会議室1

1. 開会

都市建設部 次長より挨拶。

2. 事業概要

3. 工事説明

次第及び資料に基づき、主催者より事業概要・工事説明を順に説明。

〈事業概要の補足説明〉

このプロジェクトの最大の目的は、交通結節点の強化であり、石部駅のバリアフリー化と利便性の向上を行うものです。

駅舎の改良はJRが行う鉄道事業、南北自由通路の整備は都市計画事業であり、いずれも手続や基準等において特殊性の高いものですが、長らく調整を重ねた結果、一体的に整備する条件が整ったため実施段階に至っています。また、それぞれ定められた事業期間をタイムリミットとして、国の補助金等の財源確保もなされています。

今回の工事をめぐっては、配布しましたQ&Aのように、これまでたくさんのご意見やご要望をいただいております。これらを踏まえて、完成後の待合スペースの形状や、安全対策として防犯カメラの設置、工事中の仮設トイレの設置等を進めてきました。

しかしながら、コミュニティハウスが有していた待合機能や障がい者用トイレの設置等、工事中の対応としては十分に答えられない部分も多々あります。

今後もアンケート等を通してご意見を伺ったり、公開可能な資料の提供、Q&A等でできる限り丁寧に向き合いながら取り組んでまいりますので、工事中についてはご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。

南側の駅前広場を整備する令和7年度以降は更なる財源確保が必要です。また、何より整備効果を地域全体に波及させていくことが重要です。石部駅周辺地域の整備については、地域活動との協働が大きく関わってきますので、引き続きご意見等をいただければあ

りがたいです。非常にコスト条件の厳しい中、新しい西の玄関口として皆様に喜んでいただける拠点となるよう取り組んでまいりますので、お力添えをお願いします。

4. 質疑応答

参加者「現時点で南北駅前広場の駐車場の駐車台数が決まっていれば教えてほしい。」

主催者「現時点では具体的な台数は定まっていません。民間の駐車台数等も考慮しながら設計の熟度を高め、定まりましたらお示しします。」

参加者「複線化についてはどう考えているのか。」

主催者「草津線複線化期成同盟会において、複線化を含め関係自治体とJRにて協議を行い、改札の電子化等を進めてきました。今後も社会の動向、変容、人口減少等も考慮した上で、利便性の向上する利用形態となるよう努めていきます。」

参加者「駅舎の設計の際に、屋根に太陽光パネルを設置する案はあったのか、案がなくなったのであれば経緯を教えてほしい。」

主催者「基本設計の段階から、脱炭素社会および電力の効率化に向けた検討は行ってきました。しかし、駅舎という恒久施設上の設置になるため、耐用年数及びランニングコスト等を考慮し、最終的に設置しない方向で決定をしました。」

参加者「電光掲示板等で1日の発電量や天候による発電量の変化がわかるようなものを設置してほしい。」

主催者「駅前広場の整備等については構想段階につき、可能な範囲で検討させていただきます。」

参加者「STEP2で下りホーム屋根の撤去、STEP5で下りホームの屋根新設となっているが、この間仮設の屋根は設置してもらえるのか。」

主催者「下りホーム上に仮設屋根を設置し、滞留スペースを設ける計画をしています。」

参加者「石部駅を活かすという意味で様々な検討を進めてもらいたい。例えば石部駅周辺整備におけるポイントとなる箇所には石部宿の石碑が入っていない。あまり都市計画の中で詳しく検討されていないのではないかと。特に、石部駅南側広場の活用を十分に検討してもらいたい。」

参加者「工事中の仮設トイレは、障がい者の方が利用できるトイレはないのか。コミュニティハウスに元々あったものがなくなって、そのまま放置されているのは如何なものか。また、待合室もなくなり、2年間ほど待合室がない状態になってしまう。利用者にとって不便のかからないよう対策を考えてもらいたい。自由通路は市の管理、駅舎はJRの管理の認識している。工事中のエレベーターの管理はどうなるのか。」

主催者「まず、自由通路の整備については市とJRで基本協定を定めており、令和6年3月までの工事期間としています。工事完了、検査後に目的物の引渡となり、その後に市の管理となります。工事中の対応も含め、石部駅周辺整備事業全体を通じて湖南市障がい児

者団体連絡協議会と協議を行いながら、利便性の向上、駅舎の移動円滑化に努めていきたいと考えています。現駅舎の解体までの期間、コミュニティハウスのような待合室はありませんが、石部駅舎のベンチや待合スペースをご利用いただければと考えています。現駅舎解体後の待合スペースは、ご意見を踏まえて検討させていただきます。」

参加者「上りホーム屋根が下りに比べて狭いのではないか。」

主催者「上りホームの屋根の面積はイラストでは小さく感じますが、自由通路下部を含め現在と変わらない程度の大きさになっています。」

参加者「待合スペースに木のぬくもり等を感じるような場づくりはしてもらえるのか。また、自動扉になっているのか。Wi-Fi 整備はされるのか。自由通路はガラス張りになるのか。」

主催者「待合室を含め、設計の形は決まっていますが、シンボリックな部材はこういう物があればいいのではないかと等、ご意見を参考に考えていきたいと思っています。待合室は自動扉で設計しています。Wi-Fi については、待合室の開設当初は一般的な備品、設備のみを考えていますが、将来的な運用を踏まえ、そういった対応ができるよう電気設備の配置等を考えています。自由通路はガラス張りにして、小さなお子様にも発着する電車を楽しんで観ていただけるような設計にしています。」

参加者「電車とホームの段差はどうなるのか。また、解消される場合はホームのみが嵩上げされるのか。」

主催者「段差解消工事は最終年度に行い、工事完了後は現在のような段差は解消します。駅前広場から改札に入っていただく部分もフラットになります。改札後からホームまでの間もフラットになります。ただし、南口駅前広場の整備工事は駅舎完成後になりますので、それまでの間は駅舎と駅前広場の段差をすり付けるような仮整備の状態になりますので、ご理解いただきますようお願いします。」

5. 閉会